

【草花の部屋】

オルレア（セリ科オルレア属 *Orlaya grandiflora*）

和名：オルレア **別名**：オルレア・グランディフローラ、ホワイトレースフラワー

英名：Orlaya

セリ目 一年草

原産地：ヨーロッパ

花言葉：可憐な心、細やかな愛、静寂 **花色**：白



← 写真-1 オルレア

撮影日：2023年5月30日

撮影場所：米原市

醒ヶ井養鱒場にて

撮影者：Mさん

→ 写真-2 オルレア

撮影日：2023年5月30日

撮影場所：米原市

醒ヶ井養鱒場にて

撮影者：Mさん



← 写真-3 オルレアの花

撮影日：2023年5月30日

撮影場所：米原市醒ヶ井養鱒場にて

撮影者：Mさん



← 写真-4 オルレアの花と葉

撮影日：2023年5月30日

撮影場所：米原市醒ヶ井養鱒場にて

撮影者：Mさん

米原市のJR醒ヶ井駅から車で10分ほどの場所にある醒ヶ井養鱒場で見かけました。遠目にも良く目立つ花でした。

オルレアは、高さ50cmほどになります。純白のレースのような花姿を咲かせる植物で、清楚で

ナチュラルな雰囲気が魅力で人気の植物だそうです。株の大きさにくらべて花が大きくよく目立ちますが全体的には自然な印象です。花期は3月～5月です。

白いレースのような繊細な花は、淡い色合いの草花や濃い色合いの草花等、多くの色合いの植物とも調和するので、庭や花壇の中で活躍してくれます。茎は比較的硬めで切り花としても流通しているそうです。

夏の蒸れに弱いので、夏に枯れてしまうことが多く一年草として扱われているそうです。開花期が長く花付きも良いので、花がらを、こまめに摘んで手入れをすれば春から初夏まで長く花を楽しめます。開花時期がバラと重なるため、バラの下草としても人気があるそうです。

葉は互生する2～3回羽状複葉で、切れ込みの多い緑です。冬はロゼット状ですが春になると花茎は直立して、よく枝分かれする、花茎を伸ばします。花茎の頂部に、小さな白色の小さな5弁花をまとまって咲かせる散形花序を形成します。

花序は、中央の微細な花の周りを深く二裂した大きな花弁を持った花がリング状に囲むという独特の形をしています。

オルレアは、オルレア・ホワイトレースなどと呼ばれることがあり、オルレア・グランディフローラの園芸品種がオルレア・ホワイトレースです。

<ちょっと一言>

～オルレアとホワイトレースフラワーの見分け方～

*オルレア

- ・4月頃には咲き始めます。
- ・草丈50cm～1mほどです。
- ・葉はニンジンのような細葉です。
- ・花は、ホワイトレースフラワーと同様の小さい花の外側を、大きめの花弁が囲んでいます。

*ホワイトレースフラワー

- ・5月下旬から咲き始めます。
- ・草丈は1mを超え、1.5mほどに成長します。

*名前が似ている花に「ブルーレースフラワー」があります。

- 学名 : Trachymene coerulea ?
- 和名 : ソライロレースソウ
- 科名 : ウコギ科
- 属名 : トラキメネ属